

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 1030

所管部局	上下水道部	所管課	上水道課	担当者名	松本 純一
事業名	施設管理費			事業分類	ハード事業
細事業名	施設管理費			政策体系	224
会計	簡水特会	科目	1.総務 - 1.総務 - 2.施設		

1. 事業の概要

簡易水道事業は、浄水場27箇所及び総管路延長約345kmなどを以って事業を実施しています。施設管理費においては、これら水道施設の維持管理及び修繕などを実施しました。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

施策目標である「水資源の循環としての水道水の供給を効果的、且つ効率的に実現すること。」のため、浄水場、配水池及び管路の水道施設の維持管理は、必要不可欠です。

② 事業を実施する必要性

安心安全な水道水の提供を行うため、簡易水道に係る施設の維持管理、及び安定した給配水のための施設修繕などを実施します。

なお、事業評価の区分については、簡易水道施設の維持管理関係を「施設管理費」としています。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	66,117	111,964	86,422	152,265	112,720	60,000	60,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	200	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	66,117	111,964	86,422	152,634	112,720	60,000
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	-369	0	0
職員等の従事人員	人/年	—	—	7.20	6.70			
人件費	千円	—	—	32,914	25,097			
事業費総額	千円	—	—	119,336	177,362			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。
 ※平成21年度の上記予算額は、現年度分である。

4. 主な事業費の内訳

施設管理費	152,634千円
-------	-----------

5. 事業結果の概要

- ・各種水道施設に対して適切な修繕が実施された。
- ・水道施設の機能維持が効率的に実施された。
- ・石綿管等に係る配水管改良が実施された。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 施設管理費		
●各種水道施設及び配水管等の維持管理を実施した。	●年間を通じて実施した。 (内容は、計装ポンプ類の維持管理、浄水設備の維持管理、給配水管の維持管理等。)	●安定的に水道水が供給された。
●平成21年度においては、老朽化した配水管の布設替事業を前年度繰越事業と併せて実施した。	●年間を通じて実施した。	●老朽化した配水管を、耐震性の優れた配水管に布設替し、安定配水に寄与した。
●各施設の日常点検。	●毎日点検を実施した。	●安定的に水道水が供給された

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

<p>①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点 安心して使用できる水道水を、継続的に安定して供給する事業運営。</p> <p>②当該事業のアピール事項 本市の簡易水道事業は、比較的に小規模が多く設置されており、維持管理が複雑である。</p> <p>③反省点、今後の展開・方向性等 簡易水道事業の各施設は、老朽化した施設が多く、維持管理費用の増大が予想されることから、計画的な対応と管理技術の一層の習熟と継承が必要である。</p>

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

<p>①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点 事業実施が無かったため、特に評価する事項はありません。</p> <p>③反省点、今後の展開・方向性等 しかしながら、今後の事業実施に向けて、効率的な施工方法の習得の必要がある。</p>
